

2021年10月8日 第394号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター「9の日」宣伝

憲法生かし、いのち・くらし・生業を守れ!

市民と野党の共闘で新しい政治、政権交代の実現を!

憲法共同センターは10月8日昼、新宿駅西口で「9の日」宣伝を行い、6団体13人が参加しました。10月とは思えない暑さのなか、「憲法を生かし、市民と野党の共闘広げ、総選挙で新しい政治を実現しよう」と訴えました。

新婦人中央常任委員の油原通江さん(写真)は、「岸田首相は、外相、防衛相、自民党政調会長を歴任し、アベガ政治を中枢で支えてきた人物。改憲、原発再稼働、大軍拡の路線を引き継ぎ、核兵器禁止条約への署名にも背を向けている」と指摘。「コロナ禍で女性の自殺が増え、困窮が深刻さを増している。防衛省は2022年度の概算要求で5兆4797億円を要求し、防衛費は増え続け、過去最高を更新している。この莫大な軍事費は、第6波に備え、医療体制の強化にまわすべき」と強調しました。



農民連の町田常高さんは、「新米の季節だが、1俵の生産経費が1万5000円かかるところ1万円を切る状況であり、働いた分の収入にならない。コロナ禍で外食が減り、昨年の米が残っている。備蓄米として政府に買い上げてほしい。自公政権は、米の流通は市場まかせで関与しない。米余りも自己責任という態度を取り続けている。これでは米作りが続けられない。フードバンクの取り組みに協力しているが、米は喜ばれる。政府が買い上げ生活困窮者にまわすべき」と訴えました。

日本共産党の吉良よし子参議院議員は、「岸田政権が発足した。自民党のハト派と言うがとんでもない。憲法違反の安保法制を強行した時の外務大臣だ。総裁選では在任期間中に改憲を実現すると言っている。高校生を対象にした全教の調査では、6割が憲法9条を守りたい回答している」と紹介。「コロナ対策が進まないのは、憲法に緊急事態条項がないからと改憲しようとするのは火事場泥棒だ。ジェンダー平等、健康で文化的な生活など憲法にもとづいた政治に転換させよう」と呼びかけました。

憲法会議の高橋信一事務局長は、「10月4、5日の朝日新聞の調査では、岸田首相の支持率は45%で菅首相の時より20%低い。生まれ変わった自民党を示すと言うが、実現できるかとの問いには、54%ができないだった。市民連合と4野党が政権合意し、野党統一候補も決まり始めている。市民と野党の共闘で政権交代を勝ち取ろう」と発言しました。

全労連の川村好伸副議長(写真)は、「憲法にもとづく政治、立憲主義をことごとく踏みにじってきた」と自公政権を批判し、「敵基地攻撃の大軍拡を進めるための憲法改悪にNOの審判を。コロナ対策で示された自己責任押し付け政治にNOの審判を。国民のいのち、暮らしを守るために市民と野党の共闘で政権交代を実現するために力を合わせよう」と訴えました。



当面の行動

10月8日(金) 総がかり行動 選挙に行こう!「青年向け」街頭宣伝

18時30分～ 新宿駅東南口

10月12日(火) 総がかり行動 ウィメンズアクション 18時～ 有楽町イトシア前

10月18日(月) 総がかり行動 街頭宣伝 18時～ 新宿駅西口

10月19日(火) 総がかり行動 19日行動 18時30分～ 国会議員会館前

11月3日(水・祝) 総がかり行動 憲法集会 14時～ 国会正門前(オンライン視聴を基本に)